

令和2年3月定例会 一般質問通告一覧

発言順	通 告 者	質問事項（質問要旨は別紙）	質問の相手
1	野口直次	令和2年度予算及び施政方針について	町長
2	澤西省司	登録された南アルプスユネスコエコパークの知名度をツールとして、町の魅力を発信することが川根本町のブランド力向上になるのか伺う。	町長
3	石山貴美夫	町の医療の現状と将来について	町長
4	杉山広充	1 「学校の再編・統合」に関して 2 教育行政に関して	町長 教育長 町長 教育長
5	中原 緑	子育て世代が、子どもと安全に遊べる公園について	町長
6	中澤 莊也	1 耕作放棄地等対策について 2 人工透析患者等に対する支援について 3 空き家等への対策と利活用について	町長 町長 町長
7	山本信之	・自治体財政状況について ・公の施設のあり方について	町長 町長

※議員の質問の制限時間は、1回につき30分以内（質問時間のみ）とし、再質問以降は一問一答方式とする。

発言順 1 番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
野口 直次	令和 2 年度予算及び施政方針について	<p>① 第 2 次総合計画の推進を含め、令和 2 年度予算における重点施策及び主要事業を伺う。</p> <p>② 町の歳入が減少傾向にある中で、必要な事業を実施するための財源確保策として町債の発行や財政調整基金を活用しているが、来年度以降の予算編成が心配である。今後の具体的な対応策を伺う。</p> <p>③ 簡易水道事業の今後の見通しを伺う。</p> <p>④ ここにしかない理想の教育郷を目指した川根高校の支援にあたり、成果と課題、教育財源の確保について伺う。</p> <p>⑤ 産業振興において、新規参入者や若手人材育成が重要であるとするならば、スタートアップ時の集中支援及び重点支援が必要ではないか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

発言順 2 番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
澤西 省司	登録された南アルプスユネスコエコパークの知名度をツールとして、町の魅力を発信することが川根本町のブランド力向上になるのではないかと伺う。	① 南アルプスユネスコエコパークは2014年6月に登録されているが、町は南アルプスユネスコエコパークに関してどのような取り組みや、情報発信を行ってきたのか。	町 長
		② 川根本町全体がユネスコエコパーク登録エリアである。主産業であるお茶をユネスコエコパークに結びつけて広報宣伝し、川根茶復活の起爆剤にしていく考えはないか。	町 長
		③ 奥大井音戯の郷ができて20年ほどになるが、今後、多くの観光客の皆様にも南アルプスユネスコエコパークの拠点として情報発信していきたい。自然と共に生きてきた生活を資料館やまびこに学び、ネーミングも新たにリニューアルオープンすることにより、にぎわい創出の核となるのではないか。	町 長
		④ ウッドハウスおろくぼは、町内唯一の町営の宿泊施設である。町営施設として今後の運営方針について、どのような考えを持っているのか。	町 長
		⑤ 役場において、こうすれば面白いとか、こうすれば改善できるとか、こうすれば農業収益が上がるなどのほか、もうこの事業は止めようなどという、発想をするこの町の部署はどこですか。現在、機能していますか。	町 長

発言順3番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
石山貴美夫	町の医療の現状と将来について	<p>1 町の医療の充実ということから、将来の医療計画をどう考えているか。また、入院期間は、医療費削減の方向から在宅での療養への対応が重要となってきたが、これからの対応をどう考えているか伺う。</p> <p>2 医療施設から遠い地域で高齢化する町の状況の中で、遠隔診療・オンライン診療等の手法は、通院に苦勞する方々にとっては非常に便利で、望まれる診察方法と思われる。 これらの手法の推進についてどう考えているか伺う。</p> <p>3 町民患者の健康回復を図る目的で、医院、診療所からの要望を受け、町は医療機器等の導入提供という形で支援しているが、要望に対する実現の状況はどうか。</p> <p>4 町内において、新型コロナウイルス感染症への対策、情報の伝達、町内医療機関受診に対する対策、さらに町内商工業者、産業への影響と支援策について伺う。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

発言順 4 番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
杉山 広充	1 「学校の再編・統合」に関して	<p>1 教育委員会は、「これからの本町の教育に係わる意見交換会」を昨年の 11 月・12 月に 14 回実施し、延べ参加者は、138 人であったと、今年 2 月 19 日に開催した「学校の設置適正化及び教育のあり方検討協議会」において、報告した。</p> <p>① 延べ参加者の内訳について伺う。 (保護者の人数、その割合)</p> <p>② 「意見交換会」実施において、中川根第一小学校区と南部小学校区内に会場が設定されなかった。その理由を伺う。</p> <p>③ 「これからの本町の教育に係わる意見交換会」において、参加者から出された意見・思い等の概要を伺う。</p> <p>④ 「教育のあり方検討協議会」で、示された「学校教育施策スケジュール」の概要を伺う。</p> <p>⑤ 「学校教育施策スケジュール」を推進していくには、保護者の声(思い)に謙虚に耳を傾け、大切にしていかななくてはならないと思う。これを実現するための方策を伺う。</p> <p>⑥ 「学校教育施策スケジュール」において、最終的には、2 つの「義務教育学校」が明示されている。これについては、保護者の理解・協力を得ることが不可避と考える。 「義務教育学校見学会」を実施するのも、一案かと思う。見解を伺う。</p>	町 長 教育長
	2 教育行政に関して	<p>1 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 4 条第 2 項で規定されている「保護者代表の教育委員 1 名」が任命される。 平成 29 年 10 月から約 2 年 6 か月、欠員となっていた。ようやく、教育委員会の体制(教育長・教育委員 4 名)が整う。 今後の教育委員会の職務の遂行にあたり、抱負を伺う。</p>	町 長 教育長

発言順5番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
中原 緑	子育て世代が、子どもと安全に遊べる公園について	<p>1. 本町の子育て世代は、週末に片道1時間から2時間かけて、近隣市町の公園へ出かけて行くと聞く。それはこの町には、安全で楽しく遊べて、親子で半日ぐらい過ごせる公園がないからだそうだ。この町には、子どもたちが遊ぶために整備された安全な公園は必要と思うか。</p> <p>2. 合併当初から引き継がれている「新町建設計画」には、“暮らしやすい居住環境の整備”の事業名で“身近な公園の整備”が事業概要にあげられている。 また、「第2次川根本町総合計画」にも“既存の公園の有効活用と、新たな公園の整備について検討、支援していくことが必要”とある。町はその事業計画や課題をどう推進し、克服しようとしているか。</p> <p>3. 町は「第2期川根本町子ども・子育て支援事業計画」策定のため、町内の保護者にアンケート調査を実施し、“児童館や公園など子どもの遊び場の拡充”が最も多い要望であることを把握した。それに対して町は、「◆川根本町全体をフィールドとした遊ぶ機会の提供◆遊びに関する情報提供の充実」としている。 町の支援事業計画は、アンケートで最も要望が多かった項目とずれていないか。保護者の思いが反映されていない理由をうかがう。</p> <p>4. 森林環境譲与税による森林整備とともに、森林公園整備の可能性をうかがう。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

発言順 6 番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
中澤 莊也	1 耕作放棄地等対策について	<p>(1) 茶園だけでなく、耕作放棄される田も年々増える傾向にあるが、休耕田を再生しようとする者に対し、苗等の購入費用を助成する考えはないか。</p> <p>(2) 新規就農希望者の参入を容易にするため、農地法に定める下限面積を見直す考えはないか。</p> <p>(3) 農業従事者の高齢化、相続放棄等により耕作放棄された農用地区域内農地については、農振地域からの除外を積極的に行うことが必要と考えるが、当局の考えを伺う。</p>	町 長
	2 人工透析患者等に対する支援について	<p>(1) 人工透析患者や家族等の負担軽減措置を今後どのように進めて行く考えであるか。</p> <p>(2) 人工透析患者等のニーズ調査の結果、町内での透析を望む声が非常に多いが、町内に人工透析ができるような施設を設ける考えはあるか。</p> <p>(3) 人工透析患者をこれ以上増やさないため、町はどのような予防活動を展開していこうと考えているのか。</p>	町 長
	3 空き家等への対策と利活用について	<p>(1) 空き家所有者等への意向調査を行う考えはあるか。</p> <p>(2) 空き家等所有者が気軽に相談できる体制の整備をどのように行なっていこうと考えているか。</p> <p>(3) 町外に居住する空き家所有者がふるさと納税をした場合の返礼品として町が考えている空き家管理代行サービスとはどのようなものであり、それをどのようにして推進していく考えか。</p>	町 長

発言順 7 番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
山本 信之	<p>・自治体財政状況について</p>	<p>(1)平成 30 年度 9 月の一般質問について、町長は今後向こう 5 年間程度の短期スパンにおける地方財政運営に臨んでいく考えであると答弁されましたが、今後どのように対応していくのか方針を問う。</p> <p>(2)実質単年度収支は決算ベースで平成 27 年度△2 億 5 百万円、平成 28 年度△1 億 75 百万円、平成 29 年度△4 億 84 百万円、平成 30 年度△2 億 40 百万円あり、平成 27 年度から 4 年連続して赤字になっている。令和 2 年度予算では 1 億 97 百万円、基金取崩額になっているので、財政調整基金が 5 億 67 百万円しかありません。できる限り早急に解消することが必要だと思いますが、町長の考えを問う。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>
	<p>・公の施設のあり方について</p>	<p>(1)音戯の郷について 音戯の郷を収入の見込める施設に変更できないか検討が必要であると考えますが、町長の考えを伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くのファンを抱える「大井川鐵道ミュージアム」に用途変更して集客し、利用料金を得る。 ・「大井川鐵道の聖地」として集客する。 	<p>町 長</p>